

4. 教務関係

(1) 入学者、在籍者の状況

① 公益学部

イ 男女別在籍者数（令和2年5月1日現在）

性別	1年次	2年次	3年次	4年次	計
男	164	190	164	133	651
女	86	70	75	88	319
計	250	260	239	221	970

※休学者の数は在籍者の内数

ロ 出身地別在籍者数（令和2年5月1日現在）

出身地		1年次	2年次	3年次	4年次	計
山形県内	村山	49	44	46	49	188
	最上	16	22	23	13	74
	置賜	45	41	40	30	156
	庄内	53	56	44	46	199
	小計	163	163	153	138	617
山形県外	青森県	6	6	5	9	26
	岩手県	16	18	18	22	74
	秋田県	26	25	23	20	94
	宮城県	5	7	5	9	26
	福島県	15	24	16	14	69
	茨城県	2	1			3
	群馬県			1		1
	埼玉県	1	1	2	1	5
	東京都	1	3		2	6
	神奈川県	5	1	4	2	12
	新潟県	3	2	2	2	9
	石川県	1	2	1	1	5
	長野県	2	1	2	1	6
	大阪府			1		1
	奈良県	1				1
	大分県		1	3		4
	福岡県		2			2
	宮崎県	2	2	2		6
	長崎県	1				1
	滋賀県		1			1
中国			1			
小計	87	97	86	83	354	
		250	260	239	221	970

ハ 退学・除籍・休学の状況（令和元年度）（令和2年5月1日現在）

学 年	1年次		2年次		3年次		4年次		計		累 計
退学者	10		4		2		3		19		403
除籍者	0		0		0		0		0		33
休学者	春学期 0	秋学期 1	春学期 0	秋学期 0	春学期 0	秋学期 0	春学期 0	秋学期 0	春学期 0	秋学期 1	—

② 公益学研究科 [収容定員 修士課程 60名、博士後期課程 12名]

イ 男女別在籍者数

性別	修士1年	修士2年	博士後期1年	博士後期2年	博士後期3年	合計
男	5	7	0	0	2	14
女	1	4	0	2	0	7
計	6	11	0	2	2	21

ロ 出身地別在籍者数

出身地		修士 1年	修士 2年	博士後期 1年	博士後期 2年	博士後期 3年	合計
山形県内	村山	1	2	0	0	1	4
	最上	0	0	0	0	0	0
	置賜	0	0	0	0	0	0
	庄内	1	7	0	0	0	8
	小計	2	9	0	0	1	12
山形県外	秋田	2	0	0	0	0	2
	宮城	1	0	0	0	0	1
	新潟	1	0	0	0	0	1
	埼玉	0	1	0	0	0	1
	東京	0	0	0	0	1	1
	小計	4	1	0	0	1	6
国外	スリランカ	0	0	0	2	0	2
	パキスタン	0	0	0	0	0	0
	ラオス	0	1	0	0	0	1
	小計	0	1	0	2	0	3
合計		6	11	0	2	2	21

ハ 退学・休学の状況（令和元年度）

学 年	修士課程	博士後期課程	合計
退学者	3	0	3
除籍者	0	0	0
休学者（春学期）	2	2	4
休学者（秋学期）	3	2	5

(2)公益学部履修科目

ロカリキュラム(2019年度入学生)

大区分	中区分	小区分	1年次		2年次		3年次		4年次		種別	必要単位	備考	
			第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター				
基礎教育科目 (169)	スタンダード導入科目 【6】		●基礎演習a ●基礎演習b ●現代公益論Ⅰ,Ⅱ ●山形地域論								必修	8		
		1群	哲学 倫理学 文学概論 心理学 日本史a 日本史b 西洋史a 西洋史b 人文地理学 a 文化人類学 英国庭園文化論 世界地誌											
		2群	経済学 法学 政治学 社会学 社会福祉学a 社会福祉学b シェンダー論 環境社会学 教育学 生涯学習概論 特別支援教育											
	3群	数学a,b 実用数学a,b 物理学 天文学a,b 統計学a,b 医学一般 健康科学 自然地理学a 自然地理学b												
リテラシー科目 【28】	外国語科目		○英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ/EAPⅠ・Ⅱ・Ⅲ/中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	○英語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ/EAPⅣ・Ⅴ・Ⅵ/中国語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	○英語Ⅶ/EAPⅦ/中国語Ⅶ・Ⅷ	○英語Ⅷ/EAPⅧ					選択必修	8以上	・同一言語8単位必修	
	情報科目		●情報リテラシーⅠ	●情報リテラシーⅡ	●基礎プログラミングⅠ	●基礎プログラミングⅡ					必修	8		
専門教育科目 (182)	地域経営系 (175)	系共通科目	○基礎簿記Ⅰ ○基礎簿記Ⅱ ○経営学基礎 ○地域福祉論a ○雇用政策論 ○ミクロ経済学 ○マクロ経済学											
		経営コース	応用統計学 経済史 経営管理論 経営工学 研究開発論 マーケティング論 福祉経営論 環境マネジメント論a,b 会計学 管理会計 経済学特論a 経済学特論b 金融論 産業組織論 経済学史 リサイクルビジネス論a,b 経営戦略論 人的資源管理論 企業法務 企業財務分析 非営利組織会計 企業組織の心理学 ゲーム理論											
		政策コース	公共経営論 行政学 地方自治論 行政法 地方自治法 政策入門 国際海洋法 公共系科目演習a,b 社会政策a,b 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ 公的年金論 福祉行政と福祉計画Ⅰ,Ⅱ 民法Ⅰ 民法Ⅱ 憲法Ⅰ,Ⅱ 地方財政論 国際法 国際関係の法と経済											
	地域福祉コース	障害者福祉論 公的扶助論 医療福祉論 権利擁護と成年後見 ソーシャルワーク総論a ソーシャルワーク総論b 地域福祉論b 相談援助の理論と方法a 相談援助の理論と方法b 相談援助の理論と方法c 相談援助の理論と方法d 高齢者福祉論 介護福祉論 児童福祉論 司法福祉論 地域福祉演習Ⅰ 地域福祉演習Ⅱ 地域福祉演習Ⅲ 地域福祉演習Ⅳ 精神保健学												
文化交流系 (102)	系共通科目	○日本文化論 ○観光・まちづくり概論Ⅰ,Ⅱ ○世界経済事情 ○情報発信・ファシリテーションの技法 ○サブカルチャー論a,b ○社会調査論Ⅰ,Ⅱ ○情報メディアと社会a,b,c,d ○情報交換概論a,b												
	国際教養コース	国際関係論 国際協力論 国際ビジネス論 アジア経済論 中国経済論 中国文化論Ⅰ,Ⅱ 比較文化論Ⅰ,Ⅱ 多文化共生論 アメリカ事情 西洋文学史 International Economics 〔語学科目〕 ■Advanced English Communication ■English Presentation I ■English Presentation II ■Intensive Reading I ■Intensive Reading II ■Academic Writing ■TOEIC(中級) ■TOEIC(上級) ■Intensive TOEIC ▲中国語会話(初級) ▲中国語会話(中級) ▲中国語中級講読Ⅰ ▲中国語中級講読Ⅱ ▲中国語リスニング ▲中国語検定対策Ⅰ ▲中国語検定対策Ⅱ ▲中国語上級講読 ▲中国語作文												
	観光・まちづくりコース	観光産業論a,b 観光政策論Ⅰ,Ⅱ 地域・観光資源論 国際観光論a,b 余暇と観光の社会学 民俗学と観光Ⅰ,Ⅱ グリーンツーリズム論 第六次産業論 自然環境の保全と共生 風景のデザインa,b 中心市街地の再生 中山間・離島地域論 NPO・NGO論Ⅰ,Ⅱ 社会起業家論Ⅰ,Ⅱ 観光・まちづくり演習a 観光・まちづくり演習b 人文地理学 日本地誌												
	メディア情報コース	ゲームデザインⅠ,Ⅱ 社会情報処理a,b 数値情報処理Ⅰ,Ⅱ 情報デザイン論Ⅰ,Ⅱ 情報処理演習a,b,c,d 応用プログラミングⅠ,Ⅱ 科学メディア論a,b インターネット演習a,b 情報処理特論a,b,c,d,e,f,g,h 地理情報基礎演習 Unix演習a,b DB演習Ⅰ,Ⅱ												
専門演習 【6】	一般						●専門演習Ⅰ			●専門演習Ⅱ	必修	8		
	留学							○専門演習(留学)Ⅰa	○専門演習(留学)Ⅰb	○専門演習(留学)Ⅰc	選択必修	2	・選択必修科目の必要単位数は留学期間に応じて定める	
発展教育科目 (133)	特別プログラム 【13】	特別プログラム基礎科目	相談援助演習Ⅰ 相談援助演習Ⅱ 相談援助演習Ⅲ 相談援助演習Ⅳ 相談援助演習Ⅴ 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習指導Ⅲ 相談援助実習指導Ⅳ 相談援助実習Ⅰ 相談援助実習Ⅱ											
		特別プログラム応用科目	特別プログラムa(テーマ) 特別プログラムb(テーマ)											
	外国語発展科目 【11】	ロシア語	ロシア語1 ロシア語2 ロシア語3 ロシア語4 日本語演習a 日本語演習b 日本語演習c 日本事情											
		留学外国語	短期語学留学1 短期語学留学2 実践外国語(期間:大学名)											
人材育成強化科目 【9】	キャリア科目 【10】	基本科目	●キャリア入門a,b		●キャリアと人生a,b		就職セミナー					必修/選択	10以上	・応用演習科目から4単位以上
	発展科目		文章表現法a,b											
		応用演習科目 【9】	○インターンシップ1 インターンシップ2 インターンシップ3 インターンシップ4 ○7'0型外型応用演習1 7'0型外型応用演習2 ○競争型課題解決演習1 競争型課題解決演習2 ○課題解決実践演習											
リメディアル科目 【4】		●国語基礎1,2 ●数学基礎1,2												
●必修科目 ○選択必修科目												合計	124	・修得が義務

(3) 公益学研究科履修科目

① 修士課程

科目区分	研究領域 および 個別科目名			
基礎科目	公益学総論			
方法論科目	論文作成法 統計学 社会調査論 共創の技法 情報処理論 文化交渉論 英語集中プログラムⅠ 英語集中プログラムⅡ 英語集中プログラムⅢ 英語集中プログラムⅣ 国際ビジネスコミュニケーション論			
専門科目	<公共経営研究領域>	<国際ビジネス研究領域>	<地域共創・ソーシャルワーク研究領域>	<情報科学研究領域>
	公共経営研究 1 (理論経済学) 公共経営研究 2 (行政法) 公共経営研究 3 (行政学) 公共経営研究 4 (財政学) 公共経営研究 5 (公会計論) 公共経営研究 6 (NPM 論) 公共経営研究 7 (公共政策論) 公共経営研究 8 (自治体政策法務論) 公共経営研究 9 (社会保障論) 公共経営研究 10 (海外行政研究)	国際ビジネス研究 1 (組織行動論) 国際ビジネス研究 2 国際ビジネス研究 3 (国際経済論) 国際ビジネス研究 4 (アジア金融論) 国際ビジネス研究 5 (産業組織論) 国際ビジネス研究 6 (アジア人材マネジメント論) 国際ビジネス研究 7 国際ビジネス研究 8 (コーポレートファイナンス論) 国際ビジネス研究 9 (アジア地域経済論) 国際ビジネス研究 10 (経営戦略論) 国際ビジネス研究 11 (アジアビジネス論) 国際ビジネス研究 12 (東南アジアの歴史と文化)	地域共創研究 1 (公共性の社会学) 地域共創研究 2 (社会政策論) 地域共創研究 3 (多文化共生・人権論) 地域共創研究 4 (ソーシャルキャピタル論) 地域共創研究 5 (地域デザイン論) 地域共創研究 6 (NPO・非営利組織論) 地域共創研究 7 (ソーシャルビジネス論) 地域共創研究 8 (合意形成・コーディネーション論) 地域共創研究 9 (スクール(学校)ソーシャルワーク論 a) 地域共創研究 10 (教育福祉論)	情報科学研究 1 (計算理論) 情報科学研究 2 (情報システム) 情報科学研究 3 (情報数理) 情報科学研究 4 (人間工学) 情報科学研究 5 (ソフトウェア論理学) 情報科学研究 6 (公益ソフトウェア論 a) 情報科学研究 7 (応用統計) 情報科学研究 8 (高信頼情報システム) 情報科学研究 9 (ディペンダブルソフトウェア開発) 情報科学研究 10 (公益ソフトウェア論 b)
発展科目	現代政策分析	ビジネスリスクマネジメント論 海外インターンシップ	スクール(学校)ソーシャルワーク演習 スクール(学校)ソーシャルワーク実習指導 スクール(学校)ソーシャルワーク実習	
	特別セミナー a	特別セミナー b	特別セミナー c	特別セミナー d
プロジェクト科目	プロジェクト a (都市・農村調査演習：庄内の農村集落形成史) プロジェクト b (庄内地方における内発的地域づくり) プロジェクト c (建築都市デザイン手法による地域課題へのアプローチ) プロジェクト d (①地域固有ポイントマッピングシステムの開発/②地域固有ポイント管理フローの開発)			
自由科目	教育学* 教育行政* 生徒指導論* 進路指導論* 教育心理学* 教育相談の理論と方法* 精神保健学* 児童福祉論*			
演習科目	演習Ⅰ 演習Ⅱ 修士論文指導Ⅰ 修士論文指導Ⅱ			

② 博士後期課程

科目区分	個別科目名
公益学研究特殊講義	公益学研究特殊講義 a (Advanced Academic Reading) 公益学研究特殊講義 b (地域活性化) 公益学研究特殊講義 c (森林の歴史と共生) 公益学研究特殊講義 d (都市空間における歴史文化的文脈の読解) 公益学研究特殊講義 e (自治体マネジメント) 公益学研究特殊講義 f (Financial markets and the global economy)
研究指導科目	研究指導Ⅰ 研究指導Ⅱ 研究指導Ⅲ
	博士論文指導Ⅰ 博士論文指導Ⅱ 博士論文指導Ⅲ

(4) インターンシップの実施状況

NO	業種	企業・団体名	実習生人数
1	官公庁	山形県庁	1
2		山形県置賜総合支庁	2
3		山形県村山総合支庁	1
4		山形県庄内総合支庁	4
5		米沢市役所	1
6		南陽市役所	1
7		川西町役場	1
8		長井市役所	2
9		高島町役場	2
10		飯豊町役場	1
11		上山市役所	1
12		山形市役所	1
13		天童市役所	1
14		大石田町役場	1
15		新庄市役所	2
16		舟形町役場	2
17		真室川町役場	2
18		戸沢村役場	1
19		鮭川村役場	1
20		酒田市役所	6
21		遊佐町役場	2
22		鶴岡市役所	3
23		庄内町役場	1
24		横手市役所	2
25		大仙市	1

NO	業種	企業・団体名	実習生人数	
26	官公庁	気仙沼市役所	1	
27		宮古市役所	2	
28		久慈市役所	1	
29		一関市役所	1	
30		伊達市役所	1	
31		田村市役所	1	
32		三春町役場	1	
33		むつ市役所	2	
34		五所川原市役所	1	
35		総務省新潟行政評価事務所	1	
36		国土交通省東北地方整備局酒田港湾事務所	1	
37		福島市消防本部福島消防署	1	
38		酒田地区広域行政組合消防本部	6	
39		団体	福島県国際交流協会	1
40			山形県国際交流協会	3
41	公益財団法人秋田県国際交流協会		1	
42	出羽庄内国際交流財団		5	
43	庄内観光コンベンション協会		7	
44	秋田観光コンベンション協会		1	
45	認定 NPO 法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭		6	
46	情報通信	株式会社ニゴロデザイン	2	
47		株式会社ニューメディア	1	
48		株式会社マイコンピュータ・ソフト	1	
49		株式会社コミュニティー新聞社	2	
50	卸・小売	株式会社八文字屋みずほ八文字屋	4	
51		トヨタカローラ山形株式会社	4	
52		ネットトヨタ山形株式会社	4	
53		ヤマリョー株式会社	1	
54		株式会社ダイユーエイト	1	
55		ゼビオ株式会社（米沢店、山形店、三川店）	6	
56	不動産・建設	株式会社東洋開発	3	
57		株式会社鈴木測量事務所	1	
58		株式会社みなと	1	
59		株式会社安藤組	1	
60		株式会社菅原工務所	1	
61		株式会社庄内測量設計舎	1	
62		加藤総業株式会社	1	

No	業種	企業・団体名	実習生人数	
63	不動産・建設	株式会社ブルー	2	
64	製造	TDK 庄内株式会社	1	
65		株式会社小松写真印刷	3	
66		株式会社川島印刷	1	
67		精英堂印刷株式会社	1	
68		東亜熱研工業株式会社	1	
69		オリエンタルモーター株式会社	4	
70		酒田米菓株式会社	2	
71		世嬉の一酒造株式会社	1	
72		福祉 教育	社会福祉法人遊佐町社会福祉協議会	1
73			社会福祉法人酒田市社会福祉協議会	2
74	社会福祉法人東根市社会福祉協議会		1	
75	社会福祉法人山辺町社会福祉協議会		1	
76	社会福祉法人光風会特別養護老人ホーム芙蓉荘		3	
77	社会福祉法人さくら福祉会		1	
78	医療法人社団さつき会老人保健施設明日葉		1	
79	児童養護施設七窪思恩園		8	
80	有料老人ホームあいのの		1	
81	株式会社こころね		2	
82	社会福祉法人おいたまの郷		1	
83	社会福祉法人米沢仏教興道会		1	
84	学校法人天真林昌学園天真幼稚園		1	
85	特定非営利活動法人くれよんはうす		1	
86	NPO 法人アスイク		3	
87	サービス その他		株式会社タマツ	2
88			最上広域交流センターゆめりあ	1
89			株式会社雅裳苑ベルナール酒田	3
90		株式会社プレステージ・インターナショナル	8	
91		株式会社亀や	2	
92		株式会社秋田キャッスルホテル	1	
93		株式会社花鳥風月	1	
94		株式会社マスポーツ	1	
95		酒田天然ガス株式会社	1	
96		SMB 日興証券株式会社	1	
97		協同組合労研センター	2	
98		出羽商工会	1	

NO	業種	企業・団体名	実習生人数
99	サービス その他	余目町農業協同組合	1
100		東根市公益文化施設まなびあテラス	3
101		株式会社近畿日本ツーリスト酒田営業所	1
102		山交観光株式会社	1
103		酒田第一タクシー株式会社	1
104		株式会社モンテディオ山形	2
105		株式会社パストラボ	1
106		株式会社秋田ふるさと村	1
107		株式会社庄交コーポレーション航空事業部(庄内空港)	1
合計			202

(5) オフィスアワーの実施状況

① 公益学部

イ 令和元年度クォーター オフィスアワー日程

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		
	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	
1時限							バンティング	D-2			1時限
2時限	武田 真理子	E-2	温井 亨	G-3			萩原 茂樹 日比 真一	A-5 A-1			2時限
昼休み											昼休み
3時限	西村 まどか 三浦 彰人 呉 衛峰 小野 英一 竹原 幸太 鎌田 剛 小関 久恵	B-4 C-5 F-2 B-2 H-4 E-4 H-3	白旗 希実子 フェック エドモンド 斉藤 徹史 スルトノフ 松尾 慎太郎 渡辺 伸子 三木 潤一	F-5 G-4 I-3 B-1 C-4 G-5 E-6	渋谷 周二 小野 敦 玉井 雅隆	D-1 地域共創センター H-2	伊藤 真知子 呉 尚浩 遠山 茂樹 渡辺 暁雄	F-3 A-2 E-5 H-1			3時限
4時限	山本 裕樹 阿部 公一 澤邊 みさ子	I-5 H-5 A-4	古山 隆	E-1			神田 直弥 倉持 一 唐 栄 松山 薫 樋口 恵佳	学部長室 D-3 C-2 C-3 I-2			4時限
5時限	広瀬 雄二	B-3					松田 憲	I-4			5時限

② 公益学研究科

イ 春学期

氏名	担当科目	オフィスアワー	場所
伊藤 眞知子	共創の技法 演習 I	火曜日 17:50～18:00	鶴岡 研究科長室
高谷 時彦	地域共創研究 5 (地域デザイン論) 演習 II	月曜日 18:00～19:30	鶴岡 研究室 TC1
遠山 茂樹	公益学研究特殊講義 c (森林の歴史と共生)	木曜日 学部 3 時限 (13:10～14:55)	酒田 研究室 E-5
温井 亨	プロジェクト a (都市・農村調査演習－庄内の農村集落 形成史)	火曜日 学部 2 時限 (10:40～12:25)	酒田 研究室 G-3
澤邊 みさ子	論文作成法 プロジェクト b (庄内地方における内発的地域づくり)	論文作成法 担当回の 授業終了後 10 分	鶴岡 中教室
阿部 公一	公共経営研究 9 (社会保障論)	月曜日 学部 4 時限 (15:05～16:50)	酒田 研究室 H-5
三木 潤一	公共経営研究 4 (財政学)	木曜日 21:10～21:20	鶴岡 セミナー室 22
呉 尚浩	プロジェクト b (庄内地方における内発的地域づくり)	木曜日 学部 3 時限 (13:10～14:55)	酒田 研究室 A-2
松田 憲	論文作成法	5 月 18 日 (土) 17:50～18:00	鶴岡 中教室
ジハン シャザダ ナイヤール	国際ビジネス研究 6 (アジア人材マネジメント論) 国際ビジネス研究 8 (コーポレートファイナンス論) 演習 I 公益学特殊講義 a (Advanced Academic Reading) 研究指導 I	金曜日 17:50～18:00 21:10～21:20	鶴岡 研究室 TA1
武田 真理子	共創の技法 地域共創研究 2 (社会政策論) 演習 I 修士論文指導 I	火曜日 19:30～19:45	鶴岡 セミナー室 23
スルトノフ ミルゾサイド	国際ビジネス研究 5 (産業組織論) 演習 I 公益学特殊講義 f (Financial markets and the global economy)	金曜日 19:30～19:40	鶴岡 セミナー室 22
竹原 幸太	地域共創研究 10 (教育福祉論) 演習 I	水曜日 17:50～18:00 18:30～18:40	酒田 共同研究室 H
広瀬 雄二	情報処理論 情報科学研究 10 (公益ソフトウェア論)	月曜日 17:00～18:45	酒田 共同研究室 B

氏名	担当科目	オフィスアワー	場所
松山 薫	論文作成法	6月22日(土) 12:50~13:00 16:10~16:20	鶴岡 中教室
萩原 茂樹	情報科学研究1(計算理論) 情報科学研究5(ソフトウェア論理学) 情報科学研究8(高信頼情報システム) 演習I	木曜日 学部2時限 (10:40~12:25)	酒田 共同研究室A
斉藤 徹史	公共経営研究2(行政法)	授業開講日の金曜日 19:30~19:40	鶴岡 セミナー室21
西村 まどか	情報科学研究3 (情報数理)	月曜日 学部3時限(13:10~14:55)	酒田 共同研究室B
渋谷 周二	日本語演習(中級) 日本語演習(上級)	授業開講日の 最初の授業開始前10分 最後の授業終了後10分	鶴岡 セミナー室23
倉持 一	国際ビジネス研究10(経営戦略論) 演習I・II	金曜日14:40~16:10	鶴岡 研究室TA2
山本 裕樹	統計学	木曜日 19:30~19:40	鶴岡 セミナー室21
小野 英一	公共経営研究3(行政学) 公益学研究特殊講義e (自治体マネジメント)	月曜日 学部3時限 (13:30~14:55)	酒田 研究室B-2
白旗 希実子	論文作成法	6月1日(土) 12:40~13:00 16:10~16:30	鶴岡 講師室
バンティング ティモシー	英語集中プログラムI~IV	授業開講日 最初の授業開始前10分 最後の授業終了後10分	鶴岡 セミナー室23
加留部 貴行	共創の技法	授業担当回12:50~13:00	鶴岡 大学院ホール
酒井 計史	社会調査論	授業担当日の最初の 授業開始前10分、 最後の授業終了後10分	鶴岡 中教室
和田 明子	公共経営研究10(海外行政研究)	授業担当日の最初の 授業開始前10分、 最後の授業終了後10分	鶴岡 セミナー室23
岡本 三彦	公共経営研究10(海外行政研究)	授業担当日の最初の 授業開始前10分、 最後の授業終了後10分	鶴岡 セミナー室22
馬場 健	公共経営研究10(海外行政研究)	授業担当日の最初の 授業開始前10分、 最後の授業終了後10分	鶴岡 セミナー室22
滝口 克典	地域共創研究3 (多文化共生・人権論)	火曜日 19:30~19:40 21:10~21:20	鶴岡 セミナー室23
青木 孝弘	地域共創研究6 (NPO・非営利組織論)	月曜日 17:50~18:00 19:30~19:40	鶴岡 セミナー室23
和川 央	現代政策分析	授業開講日の金曜日 17:50~18:00 21:10~21:20	鶴岡 セミナー室21

□ 秋学期

氏名	担当科目	オフィスアワー	場所
伊藤 眞知子	公益学総論 公共性の社会学 演習 I	火曜 17:50~18:00	鶴岡 セミナー室 21
高谷 時彦	プロジェクト c 演習 II	火曜 19:40~21:10	鶴岡 研究室 TC1
澤邊 みさ子	公益学総論	12月23日(月) 17:50~18:00 21:10~21:20	鶴岡 中教室
三木 潤一	演習 I	火曜 15:05~16:50	酒田 共同研究室 E
呉 衛峰	文化交渉論	木曜 17:50~18:00	鶴岡 セミナー室 21
ジハン シャザダ ナイヤール	国際ビジネス研究 11 (アジアビジネス論) 修士論文指導 I 研究指導 I	アジアビジネス論 開講日の土曜日 最初の授業開始前 10 分 最後の授業終了後 10 分	鶴岡 研究室 TA2
武田 真理子	公益学総論 地域共創研究 8 (合意形成・コーディネーション論) 演習 I 修士論文指導 I	①公益学総論開講日の 17:50~18:00、21:10~21:20 ②合意形成・コーディネーション 論開講日の 授業開始前 10 分間 授業終了後 10 分間	①は鶴岡 中教室 ②は鶴岡 大学院ホール
神田 直弥	情報科学研究 4 (人間工学) 演習 II	木曜 15:05~16:50	酒田 学部長室
スルトノフ ミルゾサイド	国際ビジネス研究 3 (国際経済論) 国際ビジネス研究 4 (アジア金融論) 演習 I	国際経済論開講日の 土曜 12:50~13:00 アジア金融論開講日の 土曜 12:10~12:20	鶴岡 セミナー室 23
竹原 幸太	演習 I	授業開講日の 最初の授業開始前 10 分 最後の授業終了後 10 分	鶴岡 セミナー室 23
広瀬 雄二	公益学総論 情報科学研究 10 (公益ソフトウェア論 b) プロジェクト d	月曜 17:00~18:45	酒田 研究室 B-3
萩原 茂樹	情報科学研究 2 (情報システム) 情報科学研究 9 (デペンダブルソフトウェア開発) 演習 I	木曜 10:40~12:25	酒田 研究室 A-5
渋谷 周二	日本語演習 演習 I・II	授業開講日の 最初の授業開始前 10 分 最後の授業終了後 10 分 金曜 16:30~18:00	鶴岡 セミナー室 23
山本 裕樹	情報科学研究 7 (応用統計)	木曜 19:30~19:40	鶴岡 セミナー室 12
玉井 雅隆	公益学総論	12月9日(月) 17:50~18:00 21:10~21:20	鶴岡 中教室

氏名	担当科目	オフィスアワー	場所
小野 英一	公益学総論	月曜 15:05～16:50	酒田 研究室 B-2
酒井 章	国際ビジネス コミュニケーション論	授業開講日の 授業終了後 10分	鶴岡 中教室
水田 健輔	公共経営研究 5 (公会計論)	授業開講日の 授業終了後 10分	鶴岡 セミナー室 22
薄葉 祐子	国際ビジネス研究 1 (組織行動論)	授業開講日の 8:50～9:00 12:10～12:20 ※11月30日は 8:50～9:00のみ	鶴岡 セミナー室 22
菊池 正	国際ビジネス研究 12 (東南アジアの歴史と文化)	授業開講日の 授業終了後 10分	鶴岡 セミナー室 23
加留部 貴行	地域共創研究 8 (合意形成・コーディネーション論)	授業担当日の 12:30～13:00	鶴岡 大学院ホール

(6) 研究業績

氏名	神田 直弥
職位・系・コース	教授・交流文化系・メディア情報コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1	高齢者の免許返納と返納後の移手段について	交通安全教育	No. 643, 6-14	2019	神田直弥
④紀要等					
1	伝統芸能の学習時における注視行動の分析	東北公益文科大学総合研究論集	第 37 号別冊	2019	神田直弥
2					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	自転車走行時の携帯型音楽プレイヤーの使用が運転行動におよぼす影響	人間工学	55 (Suppl)	2019	八代礼和・神田直弥 (神田発表)
2	高齢ドライバーの自動車以外の移手段利用に対する意識	日本交通心理学会第 84 回大会発表論文集	34-37	2019	菅原脩平, 佐藤一人, 三浦利之, 神田直弥
3	地方管理空港における駐車場機能強化に関する意識調査	日本交通心理学会第 84 回大会発表論文集	38-41	2019	神田直弥・菅原脩平・大瀧太一

2. 学会活動に関する業績

<p>①所属学会等(必須)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本交通心理学会 会員 ・ 日本人間工学会 会員 ・ 日本心理学会 会員 ・ 日本プラントヒューマンファクター学会 会員 ・ Human Factors and Ergonomics Society Full Member ・ 日本交通科学学会 会員 ・ 航空運航システム研究会 会員
<p>②各種学会における活動状況</p> <p>日本交通心理学会編集委員 (平成 26 年～)</p> <p>日本交通心理学会運営委員 (平成 29 年～)</p> <p>日本人間工学会編集委員 (平成 30 年～)</p>
<p>③学会賞等の受賞状況</p>

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別： 非採択	円
		種別：	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	鶴岡市	814,330 円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 中学生の自転車利用時における事故防止に係る交通安全教育手法の開発 (国際交通安全学会プロジェクト研究) 高齢ドライバーに対するモビリティマネジメントの実践 (酒田市との共同事業)

氏名	伊藤 眞知子
職位・系・コース	研究科長・教授・交流文化系・観光・まちづくりコース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	地方在住若年女性は何を望んでいるか～女性活躍推進のもとで	東北公益文科大学総合研究論集	第36号1-15頁	2029年7月30日	伊藤眞知子
2					
⑤総説・解説等					
1	ランドセルから考える男女共同参画	庄内町広報		2019年6月15日号	伊藤眞知子
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					
2					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須) 日本社会学会、日本家族社会学会、日本社会教育学会、日本公益学会
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ <input type="checkbox"/> 無	種別 :	
		種別 :	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	鶴岡市	50 万円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏名	遠山茂樹
職位・系・コース	教授・交流文科系・国際教養コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1	単著『歴史の中の植物－花と樹木のヨーロッパ史』	八坂書房	全 444 頁	2019 年 9 月	遠山茂樹
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須） 史学会、日本西洋史学会、西洋中世学会、駿台史学会
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	無	種別：	
		種別：	円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏名	温井 亨
職位・系・コース	交流文化系観光・まちづくりコース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1	名もなき人の普く あった信仰の風景 端山信仰と山遊び	風景計画研究、日 本造園学会風景 計画研究推進委 員会	第4号、 22-25	2019年発行	温井亨
④紀要等					
1					
2					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	名もなき人の普く あった信仰の風景 端山信仰と山遊び	日本造園学会全 国大会ミニフォー ラム		2019年5月	温井亨
2					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）	日本造園学会、日本建築学会、日本都市計画学会、和食文化学会、都市史学会
②各種学会における活動状況	日本造園学会：ランドスケープ遺産インベントリー作成委員、東北支部運営常任委員、研究発表論文集校閲委員（査読2件）、全国大会参加（5月筑波大学、ミニフォーラム発表）、

東北支部運営委員会参加(4月仙台)、東北支部大会参加(10月岩手大学)
 和食文化学会：理事。理事会参加2回(1回はスカイプによる)。2019年度研究大会(庄内大会10月)実行委員会副委員長(会計責任者)
 都市史学会大会参加(12月青山学院大学)

③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別： 種別：	0円 円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) <ul style="list-style-type: none"> ● 湊町さかた探検隊：例会2回、散策会3回 ● 金峯山とクアオルト：大学の催しとして Forum21 に位置づけ広く一般参加を募る一方、湯田川地区の催しとして成人講座に組み込んでもらい、講演会、懇親会、ウォーキングを行った。その後も地区の催しに参加し、地区から市長へ事業化要請も行われた。 ● 和食文化学会エクスカッション：遊佐町、酒田市に協力いただき、鮭孵化場、ロアジス、太田シェフ、初孫と一緒に取り組んだ。こうしたことが食文化を通じた連環、延いては経済的展開につながると考えている。

氏名	澤邊 みさ子
職位・系・コース	教授・地域経営系・地域福祉コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
2					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須） 社会政策学会、日本社会福祉学会、日本公益学会、日本ニュージーランド学会 日本職業リハビリテーション学会。北ヨーロッパ学会
②各種学会における活動状況 日本ニュージーランド学会 事務局長（2018年6月～） 日本公益学会 理事（2012年4月～）
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	種別：	
		種別：	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	<p>(地域課題解決のための研究・活動状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 酒田市飛島における地震発生時の行動についての聞き取り調査（プロジェクト型応用演習（春学期）） ・ 小学生を対象とした「公益を考える事業」の企画・実践（応用型プロジェクト演習（KKP）） ・ 勤労や地域貢献など意欲のある男性が、退職後も社会に参加できる環境を整えるための居場所づくり（コワーキング酒田男塾のアドバイザーとして活動） ・ 酒田・飽海地区のひきこもり者の支援のため、関係機関の情報を共有し、解決策を導き出すための関係機関ネットワーク会議に参加 (以上、地域の組織・団体と協力して活動)

氏名	阿部 公一
職位・系・コース	教授・地域経営系・政策

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	人生 100 年時代の年金広報政策と年金教育	企業年金発行/企業年金連合会	38 巻 7 号 (472 号) pp. 28-29	2019 年 9 月 (令和元年)	阿部公一
2					
① 総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
② 口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	公的年金制度に関する年金教育の在り方	日本年金学会 40 周年記念出版事業報告会(於:年金シニアプラン総合研究機構)		2019 年 11 月 9 日 (令和元年)	阿部公一
2					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)	日本年金学会、日本公民教育学会、日本財政学会、その他。
②各種学会における活動状況	日本年金学会からの寄稿依頼を受けた論文を執筆した。11 月に内容プレゼン及び編集委員の審査を経て、年度末まで最終稿を提出した。今後、編集委員による最終審査と修正を加えて、日本年金学会編にて、2020 年度の秋に法律文化社より出版予定。
③学会賞等の受賞状況	

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別 :	
		種別 :	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 酒田市国民健康保険運営協議会委員として、酒田市の国民健康保険のあり方や国保行政の課題について、取り組んでいる。

氏名	三木 潤一
職位・系・コース	教授 地域経営系 経営コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1	博士学位取得済み				
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1	新規で記載すべき事項なし				
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	新規で記載すべき事項なし				
査読無し学術論文等					
1	新規で記載すべき事項なし				
④紀要等					
1	「令和元年度酒田市観光に関する調査研究」	調査研究業務受託（酒田市）報告書	※2020年2月時点で未定	2020年3月（予定）	三木潤一・小嶋健太・川崎雄二郎
2	「コモンプール財としての観光資源の管理・運営－日本の地域の取組事例と酒田市への示唆－」ほか	ほくとう総研情報誌 NETT（一般社団法人 北海道東北地域経済総合研究所）	106号 70－80頁	2019年10月	三木潤一（第4回 地域経営研究会「持続可能な地域を目指して」講演記録ほか）
⑤総説・解説等					
1	記載すべき事項なし				
⑥国際会議発表論文等					
1	新規で記載すべき事項なし				
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	「平成30年度酒田市観光に関する調査研究」	平成30年度酒田市観光に関する調査研究報告会（酒田市役所）		2019年4月	三木潤一・小嶋健太・川崎雄二郎

		調査研究内容報告			
2	「コモンプール財としての観光資源の管理・運営－日本の地域の取組事例と酒田市への示唆－」	第4回 地域経営研究会（2019年度第1回）「持続可能な地域を目指して」（酒田市役所）講演		2019年8月	三木潤一
3	「地域振興政策における観光資源の管理・運営のあり方－コモンプール財に対する公共部門の役割の経済分析－」	2019年度第1回 地域活性化の経済分析ワークショップ（東北公益文科大学）研究報告		2019年9月	三木潤一
4	「消防の人員・車両配置問題」	2020年度第1回 酒田地区消防救急の人員・車両・施設最適配置問題に関する研究会（酒田地区広域行政組合消防本部）研究報告		2019年10月	三木潤一・萩原茂樹・川崎雄二郎

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須） 日本財政学会 日本地方財政学会 廃棄物資源循環学会 日本経済学会
②各種学会における活動状況 東北公益文科大学・関西学院大学・関西大学・京都先端科学大学の教員による2019年度第1回地域活性化の経済分析ワークショップを主催（2019年9月7・8日、東北公益文科大学）
③学会賞等の受賞状況 記載すべき事項なし

3. 研究資金獲得状況

	申請の有無	採択状況	採択金額
科研費関係	① 有 ・ 無	種別：令和2年度（2020年度）基盤研究（C）（一般）に申請中	円
		種別：	円

受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	酒田市	400,000 円 円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円 円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	関西学院大学産業研究所	81,000 円 円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) 記載すべき事項なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 調査研究業務受託（酒田市）「令和元年度酒田市観光に関する調査研究」に研究代表者として取り組み、令和2年度も継続の予定である。

氏名	吳 衛峰
職位・系・コース	教授・文化交流系・国際教養コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
0					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
0					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
0					
査読無し学術論文等					
0					
④紀要等					
1	『華文俳句選』— —瞬間を詠む中国 短詩型の実験	東北公益文科大学 総合研究論集	第 3 6 号、（1） —（4）	2019年 7月（令和 元年）	単著
2	中国語圏における 俳句の影響について— 俳句の中国語翻訳を 中心に（その一）	東北公益文科大学 総合研究論集	第37号 別冊、 （1）— （9）	2020年 3月（令和 2年）	単著
⑤総説・解説等					
1	ラウンドテーブル 「華文俳句の可能性」	俳句界（特別レポート）	284号 （2020年3月 号）	2020年 2月（令和 2年）	単著
⑥国際会議発表論文等					
1	詩人陳黎的「俳句」 以及日本俳句翻訳	中国日本文学研究会 成立40周年国際学術 検討会論文集	論文集出版の見通 しが不明	2019年 10月19日、 山東師範大学にて 発表	単著
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	華文二行俳句とは 何か	ラウンドテーブル 「華文俳句の可能性」	科研費「中国語 圏における俳句の 受容と実践に関する 比較文学的研究」シ ン	2019年 12月14日、 熊本大学にて	単独発表および 司会。内容については、 上記『俳句界』掲載 レポートにて紹介。

			ポジウム (代表者 および総 司会：吳 衛峰)		
2					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須) 日本比較文学会、東大比較文学会、和漢比較文学会、東方学会、日本中国学会、中国日本 文学研究会
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有・無 <input checked="" type="radio"/> 有	種別：基盤研究C	1,200,000円
		種別：	円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏名	呉尚浩
職位・系・コース	教授 交流文化系 観光・まちづくりコース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 （元号併 記）	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1	「花がおこし結ぶ島づくり【飛島・粟島・佐渡島の三島交流と「とびしま未来協議会」の挑戦】」長嶋俊介編『日本ネシア論』（別冊環）	藤原書店	pp. 401-404	2019年6月	呉尚浩
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1	海岸林保全管理における共同管理体制の構築：地域・NPO・企業（平成30年度日本海岸林学会石垣大会シンポジウム報告）	海岸林学会誌	第18巻第1号 pp. 13-20	2019年6月	岡田穰・宮島清一・梅津勘一・呉尚浩・小酒井正和・藤田和歌子
④紀要等					
1	「公益的な地域社会の実現と創造的な合意形成の場づくり-山形県庄内地域における取り組み実践から考える-」（巻頭言）	東北公益文科大学総合研究論集	第36号 pp. i-iv	2019年7月	呉尚浩
⑤総説・解説等					
1	学生活動 SCOP の提案から生まれたプロジェクト型応用演習（海洋ごみ問題解決のための行動計画づくり）	『やまがた創生だより』（COC+機関誌）	第14号、 p. 4	2019年10月	呉尚浩・樋口恵佳

⑥国際会議発表論文等					
1	報告名 Improving the existing multi-stakeholder networking for new marine litter issues	会議名 MARE People and the Sea Conference 2019 (June 25-29, 2019, University of Amsterdam, the Netherlands) 会議の開催者名 Centre for Marine Research		2019年6月	報告者名 Eka Higuchi and Naohiro Go (共同の報告ではあるが、実際の会議への参加・報告は樋口恵佳講師のみ)
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					
2					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)	日本環境社会学会 日本公益学会 日本海岸林学会 日本沿岸域学会 地区防災計画学会 庄内・社会基盤技術フォーラム (土木学会認定CPDプログラム)
②各種学会における活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・庄内社会基盤技術フォーラム・運営委員 ・地区防災計画学会大会参加 (第6回大会、兵庫県立大学神戸防災キャンパス、2020年3月開催、参加予定)
③学会賞等の受賞状況	

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別： 種別：	円 円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円 円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円 円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円 円
			円

	件 数	契約先名	契約金額
その他 外部 資金	1 件	公益財団法人マエタテクノロジーリサーチファンド(山形大学、公益大、山形県森林研究研修センター、(株)朝日航洋の共同研究/研究代表者は山形大学農学部・菊池俊一准教授)「航空レーザー測量および GIS を活用した海岸林保全システムの構築」	700,000 円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 離島における内発的な地域づくり(防災、ジオパーク推進、三島交流など)、海洋ごみ問題、海岸林保全、生態系保全型農業分野など研究・活動多数(教育業績、研究業績、社会貢献業務、国際関連業務の各項目に詳細に記載)

氏名	松田 憲
職位・系・コース	教授・交流文化系・国際教養コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同 発表の場合は論 文等に記載した 順に本人も含め 記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
2					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					
2					

2. 学会活動に関する業績

<p>①所属学会等(必須)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本比較文化学会 ・ 大学英語教育学会 ・ 全国語学教育学会 ・ 外国語教育メディア学会 ・ Teachers of English to Speakers of Other Languages International Association
<p>②各種学会における活動状況</p> <p>所属学会の研究発表大会にできるだけ参加して最新の知見に触れた。</p>
<p>③学会賞等の受賞状況</p> <p>特になし</p>

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	種別 :	
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	1件	酒田市（グローバル・セミナー：国際教養コース主催）	250,000円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	0件		円

4. その他

特許等 知的財産権の申 請・取得	(申請・取得内容) 特になし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 特になし

氏名	古山 隆
職位・系・コース	教授・地域経営系・経営コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
2					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	金属アルミニウムの湿式粉碎による水素発生に関する基礎的研究	資源・素材 2019（京都）大会プログラム・要旨集	p. 174	2019	古山隆
2					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須） 自動車技術会リサイクル技術部門委員会 環境資源工学会 資源・素材学会
②各種学会における活動状況 自動車技術会リサイクル技術部門委員会 幹事 環境資源工学会 評議員
③学会賞等の受賞状況 なし

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	種別 :	
		種別 :	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	西日本ガラスリサイクルセ ンター	0 円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		0 円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		0 円
			円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		0 円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) なし

氏名	武田 真理子
職位・系・コース	地域経営系 地域福祉コース 教授

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	「ニュージーランドにおける児童・家族福祉制度の改革と子育て支援における官民の協働に関する考察」	『日本ニュージーランド学会誌』	第26号 pp. 11-24	2019年7月	武田真理子
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
2					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	「＜安全＞の視点からのニュージーランド社会保障制度の分析」	日本ニュージーランド学会	第26回研究大会・シンポジウム「安全学とニュージーランド研究」（日本大学）	2019年6月15日（土）	武田真理子
2					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)	日本ニュージーランド学会、社会政策学会、日本社会福祉学会、日本公益学会
②各種学会における活動状況	日本ニュージーランド学会は副会長として学会運営を担当、その他は会員としての活動
③学会賞等の受賞状況	

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	①有 ・ 無	種別：基盤研究C	300,000円
		種別：	円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	2件	鶴岡市「地域共創コーディネーター養成プログラム構築事業」	1,000,000円
		舟形町住民主体の地域づくり事業コーディネート業務	1,237,500円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	1件	東京オリンピック・パラリンピック酒田市ホストタウン推進協議会会長（酒田市長）「ニュージーランド連続講座業務委託」	108,000円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 酒田市オリンピック・パラリンピック・ホストタウン推進協議会への参画、酒田市市民向けの「Get to Know New Zealand」連続講座の第11回から第15回の企画・開催及び講師、東北公益文科大学後援会「一流体験合宿型研修プログラム in NZ」と同時期にニュージーランドを訪問した「酒田市市民交流団」の福祉機関等へのヒアリング調査の実施支援

と同行など、酒田市政及び酒田市民のニュージーランドとの交流と国際化の推進に貢献をした。令和2年度もニュージーランド研究所の研究員及び関係者とともに継続的、発展的にニュージーランド研究の市政への還元と人材育成に取り組む。

また、平成29年度にNPO法人やまがた絆の架け橋ネットワークと武田研究室で共同開発した山形県版避難所運営ゲーム「やまはぐ。」を用いた防災研修会を鶴岡市第六学区、第四学区、酒田市八幡観音自治区で開催し、これまでの研究室活動の知見と成果物を活かして専門演習Ⅰの受講生8名が酒田市立第一中学校一年生（5クラス全員）を対象に独自に開発した防災教育授業を実践するなど、武田研究室の「住民主体の災害時要援護者支援のあり方研究プロジェクト」の研究成果を地域に還元する活動にも取り組んだ。

氏名	Sultonov Mirzosaid
職位・系・コース	教授、交流文科系、国際教養コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	The causality relationship between remittances and the real effective exchange rate: the case of the Kyrgyz Republic	International Journal of Economic Policy Studies, Springer	vol. 14, pp. 167-177	2020	Sultonov M.
査読無し学術論文等					
1	An empirical analysis of the relationship between remittances and the real effective exchange rate for Tajikistan	Tohoku Koeki Bunka Daigaku, Sougo Kenkyu Ronshu	vol. 36, pp. 37-45	2019	Sultonov M.
④紀要等					
1					
2					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1	Oil price effects on exchange rate and price level: The case of South Korea	The 16th International Conference on Economics and Social Sciences	ICESS	Tokyo, Japan, March 2019	Sultonov M.
2	The Response of Japan's financial	The 94th Annual Conference of	WEAI	San Francisco,	Sultonov M.

	markets to information on important changes in the international economy and policy	WEAI		CA, USA, July 2019	
3	The impacts of international political and economic events on Japanese financial markets	The 18th International Conference of the Japan Economic Policy Association	JEPA	Tokyo, November 2019	Sultonov M.
4	The relationship Between remittances and exchange rate: Case of Tajikistan and Kyrgyz Republic	Global Conference on Advances in Business and Social Sciences	GCABSS	Tokyo, December 2019	Sultonov M.
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	Geographical Distribution of Production and Sales Structure and Currency Risk Exposure: Cases of Japanese Exporters by Mizuki Goto and Satoshi Koibuchi	The 94th Annual Conference of WEAI	WEAI	San Francisco, CA, USA, July 2019	Sultonov M. 討論者

2. 学会活動に関する業績

<p>①所属学会等(必須)</p> <p>比較経済体制学会(会員)</p> <p>Japan Economic Policy Association (会員)</p> <p>World Economic Association International (会員)</p> <p>International Conference of Japan Economic Policy Association (member of organizing committee)</p> <p>Global Conference on Advances in Business and Social Sciences (member of organizing committee)</p> <p>The 16th International Conference on Economics and Social Sciences (member of organizing committee)</p>

International Journal of Economic Policy Studies (member of editorial board)
Journal of Social Indicators Research (referee)
Journal Applied Economics (referee)
Journal of Reviews on Global Economics (referee)
Journal of Sustainability (referee)
Journal of International Risk Management (referee).
②各種学会における活動状況 Organization committee member, session chair, presenter, discussant and referee works
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別：基盤研究(C)	780,000円
		種別：	円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏名	渡辺 暁雄
職位・系・コース	准教授・交流文化系・観光・まちづくりコース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	伝統空間のデータ化方法と閲覧方法の違いによる認識の差異	東北公益文科大学総合研究論集	第 37 号別冊 pp. 133-148	2020 (令和 2) 年 3 月 (予定)	渡辺暁雄 三浦彰人
2	シンポジウム抄録「地域と共に歩む大学とデジタルアーカイブ」	東北公益文科大学総合研究論集	第 37 号別冊	2020 (令和 2) 年 3 月 (予定)	玉本英夫 唐 栄 神田直弥 広瀬雄二 三浦彰人 渡辺暁雄 (兼 コーディネーター) 小関久恵
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					
2					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)	日本社会学会, デジタルアーカイブ学会, 日本生活学会, 社会文化学会, 日本公益学会
②各種学会における活動状況	大会への参加
③学会賞等の受賞状況	

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	種別：	
		種別：	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ・ 鶴岡市加茂地区の地域振興に関する活動 (加茂ランドデザイン推進事業) ・ 「さかた産業フェア 2019」への出展 ・ 研究ブランディング事業シンポジウム・コーディネート

氏名	広瀬雄二
職位・系・コース	准教授・メディア情報コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	地域文化ストーリーマップ構築のためのリポジトリの設計	東北公益文科大学紀要	2020年3月ブランディング事業特集号	2020年3月	広瀬雄二
2	プログラミング教室の運営と手引の作成	東北公益文科大学紀要	2020年3月ブランディング事業特集号	2020年3月	亀谷千香子, 広瀬雄二
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	地域文化デジタルストーリーマップ構築の取り組み	情報処理学会研究報告	情報システムと社会環境研究会第150回研究発表会(15)	2019年11月(R1)	広瀬雄二, 三浦彰人, 唐栄

2	VR 技術を用いた サクランボ狩りの 体験による観光客 誘致可能性の検討	情報処理学会研 究報告	情報シス テムと社 会環境研 究会第 150回研 究発表会 (16)	2019年11 月(R1)	唐栄, 広瀬雄二
---	---	----------------	--	------------------	-------------

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別： 種別：	円 円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	1件	酒田市情報管理課	600,000円 円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円 円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円 円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	件		円 円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏名	日比 眞一
職位・系・コース	准教授 地域経営系 地域福祉コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	2月に投稿。査読中。				
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
2					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1					
2					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須） 日本社会福祉学会 日本福祉教育・ボランティア学習学会 日本福祉図書文献学会 山形県社会福祉士会 山形県権利擁護センターぱあとなあ 日本福祉学習支援学会 山形県レクリエーション協会
②各種学会における活動状況 <ul style="list-style-type: none"> ・日本福祉図書文献学会の全国大会に参加。 ・日本福祉図書文献学会誌に2月に投稿。査読中。 ・山形県社会福祉士会に所属して人脈形成等に努める。 ・認定社会福祉士の専門性を調べたい。今年度は受講できなかった。次年度はスーパービジョンやその他の科目の受講を進めたい。 ・成年後見制度に関する社会福祉の役割や意義についても調査したい。そのため後見人名簿ぱあとなあに登録する。受任してソーシャルワーカーとして地域社会への貢献を果たしたい。その過程において実務を実際に経験していく。課題や問題点の抽出を進めたい。 ・日本福祉学習支援学会の東北ブロック理事への就任依頼を頂いている。3月の総会で審

議されるとのこと。
 ・学会入会していないが、東北スクールソーシャルワーク学会から発表の依頼が来ている。5月の大会で発表予定。
 ・日本福祉大学山形県同窓会から7月の総会で講演して欲しいとの依頼。依頼文を出して頂くようお願いしている。

③学会賞等の受賞状況
 なし。

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	存・ <input checked="" type="radio"/>	種別：	円
		種別：	円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
		円	
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) <ul style="list-style-type: none"> ・山形県社会福祉協議会苦情解決第三者委員 苦情の円満な解決に貢献する。利用者の立場に立って苦情解決を図る方法を研究する。 ・社会福祉法人光風会評議員 地域の中核施設である光風会グループの適正な運営に資することによって、地域の福祉課題に取り組む。その過程において施設アドミニストレーションを研究する。 ・山形県権利擁護センターぱあとなあ 後見受任を進めている。社会福祉士として弁護士や司法書士とは違う専門性を研究する。 ・山形県レクリエーション協会 山形県の介護施設で実施されているレクリエーションの実態を調べたい。

氏名	松山 薫
職位・系・コース	准教授 交流文化系 観光まちづくりコース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 （元号併記）	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	前田京美著・山岸常人監修『日輪兵舎 戦時下に花咲いた特異な建築』（鹿島出版会）の歴史的記述における誤謬について			2020（令和2）年	松山 薫
⑤総説・解説等					
1	地図から掘り起こす地域資源 第1回 飯森山（酒田市）	Future Sight	84（6-7）	2020（令和2）年	松山 薫
2	地図から掘り起こす地域資源 第2回 庄内交通湯野浜線とその周辺（鶴岡市）	Future SIGHT	85（12-13）	2019（令和元）年	松山 薫
3	地図から掘り起こす地域資源 第3回 「日輪講堂」とその周辺（遊佐町）	Future SIGHT	86（12-13）	2019（令和元）年	松山 薫

⑥国際会議発表論文等					
1	Planning processes of the conversion project of a former U.S. military base in the built-up area of Tokyo, Japan: A case study of Tachikawa Air Base	International Geographical Union	Thematic Conference; TRANSFORMATION OF TRADITIONAL CULTURAL LANDSCAPES , Koper, Slovenia	2019 (令和元)年	Kaoru MATSUYAMA
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	軍都の系譜―旧軍用地の転用過程の政治的・社会的特異性(招待あり)	人文地理学会	第290回例会(特別例会)公開シンポジウム「軍都の歴史と地理」	2019 (令和元)年	松山 薫
2	007 映画のロケ地におけるファンイベントと地域 ―鹿児島県南さつま市秋目の事例―	日本観光研究学会	東北支部大会	2019 (令和元)年	山口泰史・松山 薫

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)	日本地理学会, 人文地理学会, 歴史地理学会, 経済地理学会, 東京地学協会, 東北地理学会, お茶の水地理学会, 軍事史学会, 日本アイルランド協会, 日独協会, 日本地図学会, 日本観光研究学会, 山形県地域史研究協議会
②各種学会における活動状況	歴史地理学会役員 庶務運営委員
③学会賞等の受賞状況	

3. 研究資金獲得状況

科研費関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	④ 有 ・ 無	種別 :	円
		種別 :	円
受託研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円

関係			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 遊佐町吹浦の「日輪講堂」保存へ向けての学術的協力。

氏名	齊藤 徹史
職位・系・コース	准教授 地域経営系 政策コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（一）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1	「政策法務の実践としての公契約条例（1）－秋田市公契約基本条例を例として」（依頼稿）	『北海道自治研究』	608号11～17頁	2019年 (令和元年)	齊藤徹史 (単著)
2	「政策法務の実践としての公契約条例（2）－由利本荘市公契約基本条例を例として」（依頼稿）	『北海道自治研究』	3月発行号	2020年 (令和2年) 3月掲載予定	齊藤徹史 (単著)
④紀要等					
1	「入札制度に係る公法上の論点（序論）」（依頼稿）	『白鷗法学』	26巻1号 47～81頁 (鈴木孝之先生退職記念号)	2019年 (令和元年)	齊藤徹史 (単著)
2	「特別寄稿 自治体の再犯防止への取組みと地方創生の可能性（一）」（依頼稿）	一般社団法人更生支援事業団	同事業団HP掲載	2020年 (令和2年) 3月掲載予定	齊藤徹史 (単著)
3	「特別寄稿 自治体の再犯防止への取組みと地方創生の可能性（二・完）」（依頼稿）	一般社団法人更生支援事業団	同事業団HP掲載	2020年 (令和2年) 3月掲載予定	齊藤徹史 (単著)
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					

⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	自治研庄内ブロックセミナー「公契約条例の制定について」	山形地方自治研究センター		2019年9月	斉藤徹史 (単独)

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)
日本公法学会 日本財政法学会 日本経済法学会 日本高等教育学会 日本地域学会 自治体学会 東北大学公法判例研究会 東北大学経済法研究会 公正取引委員会事務総局東北事務所東北経済法研究会
②各種学会における活動状況
学会大会、研究会に積極的に参加している。
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	⑦・無	種別：基盤研究(c) 種別：	0円 円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	1件	庄内町	901,824円(税別) 円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	1件	酒田市総務部行政経営課	50,000円 円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ○公共施設マネジメントについて、学生が酒田市と連携して動画を作成する企画をつくり、完成後に報道発表させる機会を設けた。公務員志望の学生にとっては、自治体実務への理解を深めさせる契機となり、学習意欲を向上させた。

	<p>○酒田市職員に対し、政策法務能力の向上を目指す研修を行った。</p> <p>○本学マルチプロジェクト研究機構地域イノベーション研究所長として、庄内の市町やにかほ市との連携を深め、次年度以降に向けた事業協力を進めた。</p>
--	--

氏名	西村まどか
職位・系・コース	准教授・メディア情報コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
2					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1					
2					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須） 日本物理学会・情報処理学会・IEEE
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別：不採択	円
		種別：	円

受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
		円	
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏名	鎌田 剛
職位・系・コース	准教授・地域経営系・地域福祉

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1	「連携」を読み解くー 第1回 顔の見える関係, 飲みニケーション再考と連携の会 ー	都薬雑誌	41-11, pp. 45-49	2019年(令和元年)	鎌田剛
2	「連携」を読み解くー 第2回「場」という着眼点の提案 ー	都薬雑誌	41-12, pp. 37-41	2019年(令和元年)	鎌田剛
	「連携」を読み解くー 第3回 リーダーシップ ー	都薬雑誌	42-1, pp. 52-55	2020年(令和2年)	鎌田剛
	「連携」を読み解くー 第4回(最終回) 道具をどう組み合わせるか ー	都薬雑誌	42-2, pp. 13-16	2020年(令和2年)	鎌田剛
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	異分野・異業種との社会連携の「鍵」ー 京滋摂食嚥下を考える会のケーススタディ	第21回日本医療マネジメント学会学術総会	口演	2019年7月19日(名古屋国際会議場)	鎌田剛

2	異分野との連携を促進する二項対立	第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会	ポスター	2019年（令和元年）9月7日（万代島多目的広場・大かま）	鎌田剛
---	------------------	-----------------------	------	-------------------------------	-----

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）
日本医療マネジメント学会，日本摂食嚥下リハビリテーション学会，農村計画学会
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	種別：挑戦的研究（萌芽）， 不採択	円
		種別：	円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ゼミ活動として、鶴岡市小堅地区における地域ビジョンの策定、移住施策に関し、調査・企画・ワークショップの運営等を実施した。今後は研究としても学会発表できるレベルの調査等を実施する方向。

氏名	倉持 一
職位・系・コース	准教授・地域経営系・経営コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1	『CSR 白書 2019 －SDGs の企業経営への影響－』	東京財団政策研究所		2019年8月 (令和元年)	倉持一、金田晃一、河口真理子、松本千賀子、内山勝久、山口健一郎、小木曾麻里
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	コーポレート・ガバナンス制度強化の限界に関する理論考察	『Social Designer』	11号	2020年3月 (令和2年) 発行予定	倉持一
2	水産エコラベルの課題と可能性に関する一考察	『海洋政策研究』	復刊号	2020年3月 (令和2年) 発行予定	倉持一
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	CSR が当該日本企業の業績に及ぼす影響に関する実証研究	東北公益文科大学総合研究論集	第37号 pp. 123-138	2020年1月 (令和2年)	倉持一
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	コーポレート・ガバナンス強化の限界に関する理論研究－リスクホメオスタシス	社会デザイン学会		2019年7月 (令和元年)	

	理論を中心にー				
2					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須) 社会デザイン学会、日本経営学会、日本危機管理学会、日本経営倫理学会
②各種学会における活動状況 日本危機管理学会の理事として学会運営に関与
③学会賞等の受賞状況 2019年度社会デザイン学会優秀論文賞受賞(学会創設後初の受賞)

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	①有 ・ 無	種別： 種別：	円 円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	1件	笹川平和財団海洋政策研究所	実費 円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円 円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	0件		円 円 円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	0件		円 円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏名	山本 裕樹
職位・系・コース	准教授・メディア情報コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	インターネット望遠鏡を使った食変光星 U Sge の多色測光	東北公益文科大学総合研究論集	37号 pp. 83-95	2020年（令和2年）	山本裕樹
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	いつでも・どこでも・だれでも天体観測～インターネット望遠鏡の体験～	学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ 2019		2019年（令和元年）	山本裕樹、上田晴彦、吉田宏、秋葉竜志、下山颯、千葉大哉、布川亨
2	インターネット望遠鏡で天体観測—いつでも・どこでも・だれでも天体観測—	第24回 ダ・ヴィンチ祭		2019年（令和元年）	山本裕樹、戸田晃一
3	望遠鏡がなくても天体観測！	「青少年のための科学の祭典」2019 名古屋大会		2019年（令和元年）	表實、迫田誠治、日高正貴、山本裕樹

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)	日本物理学会
②各種学会における活動状況	なし
③学会賞等の受賞状況	なし

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	無	種別：基盤研究 (C)	852159 円
		種別：基盤研究 (C)	8644 円 (分担)
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏名	玉井 雅隆
職位・系・コース	准教授・交流文化系・国際教養コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 （元号併記）	発表者名 （共同発表 の場合は論文等に記載 した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1	該当なし				
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1	マイノリティの権利と「争点化」－朝鮮高校学費支援問題を例として－	宮脇昇（編）『国際関係の争点』志学社	83－100 頁	2019（令和元）年5月	玉井雅隆
2	「北極海航路と資源通過－民族問題と資源輸送一」	稲垣文昭・玉井良尚・宮脇昇（編）『資源地政学』	54－65 頁	2020（令和2）年3月（予定）	玉井雅隆
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	「マイノリティとトラスト－CSCE/OSCEにおける「信頼醸成（トラスト）」とマスメディア－」	公共政策研究	第19号、 31－39 頁	2019（令和元）年12月	
2	「欧州安全保障協力機構（OSCE）における公益概念とロマ人の権利－マイノリティの権利は「公益化」されるのか－」	公益学研究	第19巻 第1号	2020（令和2）年3月（予定）	
査読無し学術論文等					
1	「「欧州安全保障協力会議（CSCE）プロセスにおける周辺的問題の中心化と中心的問題の周辺化－紛争の平和的解決問題と地中海地域問題の変容を例と	日本国際政治学会 2019年度研究大会報告ペーパー	合計 17 頁	2019（令和元）年10月	

	して一」				
④紀要等					
1	「欧州安全保障協力会議（CSCE）プロセスにおける周辺的問題の中心化と中心的問題の周辺化—紛争の平和的解決問題と地中海地域問題の変容を例として一」	『東北公益文科大学総合研究論集』	第37巻、103－121頁	2020（令和2）年2月	
⑤総説・解説等					
1	該当なし				
⑥国際会議発表論文等					
1	Cultural CSBM and North East Asia – From the viewpoint of the CSCE experiences—	19th East Asia Seminar on the United Nations System、ソウル		2019（令和元）年11月	
2	North East Asian Security and European experience – Can Mongolia play a role like Finland in the North East Asia?	Global Conference on Advances in Business and Social Science(GCABSS-2019)、東京		2019（令和元）年12月	
3	Energy Security, Economic Sanction and the OSCE : From Economic Dimension to Security Dimension	International Studies Association (ISA)、ホノルル		2020（令和2）年3月（予定）	
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	「欧州安全保障協力会議（CSCE）プロセスにおける周辺的問題の中心化と中心的問題の周辺化—紛争の平和的解決問題と地中海地域問題の変容を例として一」	日本国際政治学会		2019（令和元）年10月	

2	CSCE プロセス に見る公共財と しての「平和」と 宗教	日本平和学会		2019（令 和元）年 10月	
---	--	--------	--	-----------------------	--

2. 学会活動に関する業績

<p>①所属学会等(必須)</p> <p>国際政治学会、国際法学会、グローバル・ガバナンス学会、ロシア・東欧学会、日本国連学会、日本平和学会、公共政策学会、公益学会、ACUNS、ISA</p>
<p>②各種学会における活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル・ガバナンス学会理事 ・公共政策学会『公共政策研究』編集委員会副委員長 ・日本国連学会渉外委員会委員 ・日本国連学会 20th East Asia Seminar on the United Nations System 日本側委員
<p>③学会賞等の受賞状況</p> <p>該当なし</p>

3. 研究資金獲得状況

	申請の有無	採択状況	採択金額
科研費 関係	有 ・ 無	種別：基盤（C）経済制裁の問題点と課題—対抗制裁の罨（研究分担者）	110,000円 (総額 3,200,000円)
		種別：基盤（C）公共政策決定過程における「談合」「取引」の発生要因の研究（研究分担者）	80,000円 (総額 3,400,000円)
		種別：基盤（C）資源通過国の資源紛争当事者化についての研究（研究分担者）	0円 (総額 3,400,000円)
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円 円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円 円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	0件		円 円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) 該当なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 該当なし

氏名	小野 英一
職位・系・コース	准教授・地域経営系・政策コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	荒川区における荒川区民総幸福度（グロス・アラカワ・ハッピネス：GAH）の取り組みに関する一考察—「公益学」に依拠した分析	日本地域政策研究	第 24 号 (3 月に発行予定)	2020 年 (令和 2 年)	小野英一
査読無し学術論文等					
1	自治体の人事システムに関する一考察—情報の非対称性および信頼の観点から—	公共政策研究	第 19 号 pp. 22-30	2019 年 (令和元年)	小野英一
2	荒川区における荒川区民総幸福度（グロス・アラカワ・ハッピネス：GAH）の取り組み	地域活性研究	vol. 11 pp. 149-156	2019 年 (令和元年)	小野英一
3	「公益のまちづくり」に関する研究—小山市羽川地区のまちづくりを事例として—	地域活性研究	vol. 11 pp. 179-187	2019 年 (令和元年)	山口忠保・ 小野英一
4	「食」を起点とした地域活性化について—山形県庄内地域における「食の都庄内」の取り組みを事例として—	地域活性研究	vol. 12 (3 月に発行予定)	2020 年 (令和 2 年)	小野英一

④ 紀要等					
1	主成分分析による自治体財政の総合的分析—新潟県内市町村の財政指標データをもとに—	東北公益文科大学総合研究論集	第36号 pp. 63-72	2019年 (令和元年)	小野英一
⑤ 総説・解説等					
1					
⑥ 国際会議発表論文等					
1					
⑦ 口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	総合計画策定の意義	第1回第4次三川町総合計画策定推進委員会 三川町主催		2019年 (令和元年)	小野英一
2	議会と住民参加—議員なり手不足問題を考える手がかりの一つとして—	第1回議会なり手不足解消検討会議 庄内町議会主催		2019年 (令和元年)	小野英一
3	行政サービスの適切な範囲—公設ガソリンスタンドの事例—	「公共」を考える研究会 「公共」を考える研究会主催		2019年 (令和元年)	小野英一

2. 学会活動に関する業績

① 所属学会等(必須)
自治体学会、地域活性学会、日本行政学会、日本公益学会、日本公共政策学会 日本地域政策学会、非営利法人研究学会、地方行政実務学会(3月に設立予定)
② 各種学会における活動状況
日本公益学会：理事 地方行政実務学会：理事(3月に就任予定) 日本公共政策学会：編集委員会 日本地域政策学会：東北支部事務局次長
③ 学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	④ 無	種別：若手研究	0円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円

受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏名	白旗 希実子
職位・系・コース	准教授・地域経営系・政策コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1	「第7章 社会福祉士—アイデンティティ形成としての初期研修」橋本 紘市編『専門職の質保証』	玉川大学出版部	pp. 242 – 364	2019年	7章担当 白旗希実子
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	「児童福祉司」の質保証に関する議論についての一考察—2016年「児童福祉法」一部改正に向けての議論に着目して—	東北公益文科大学総合研究論集	37号 pp. 27-45	2020年	白旗希実子
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	地方の子どもたちの自然・社会体験と、資質・態度等との関連に関する一考察—岩手県盛岡市の事例—	日本子ども社会学会	第26回大会	2019年	渡部芳栄・白旗希実子・石井美和
2	学校業務の委託に関する教員の意識—教員はどの学校業務を委託したいと考えているのか—	日本教育学会	第78回大会	2019年	白旗希実子・石井美和・荒井英治郎

2. 学会活動に関する業績

<p>①所属学会等(必須)</p> <p>日本教育社会学会 日本高等教育学会 日本産業教育学会 日本社会福祉学会 日本介護福祉学会 日本保健医療社会学会 東北教育学会 東北社会学会 山形県社会福祉士会 日本栄養改善学会 子ども社会学会</p>
<p>②各種学会における活動状況</p> <p>東北社会学会 2007～2009年 紀要編集委員 日本産業教育学会 2019年～ 理事、編集委員</p>
<p>③学会賞等の受賞状況</p> <p>2007年10月 日本産業教育学会 学会奨励賞 桐原賞 2009年3月 東北大学 総長賞</p>

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有・無	種別：基盤研究C(代表)	200千円(2019年度)
		種別：基盤研究B(分担)	600千円(2019年度)
		種別：カシオ科学振興財団 (共同研究者)	0千円(2019年度)
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) 特になし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 社会貢献業務への参加

氏名	Edmund Fec
職位・系・コース	講師・交流文科系・国際教養コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	Teaching English Pronunciation in Compulsory Speaking Classes at the Tertiary Level in Japan	東北公益文科大学総合研究論集	第37号	2020年1月20日	Edmund Fec
2					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	Pronunciation Instruction in Communication classes.	Yamagata JALT		July 20, 2019	Edmund Fec

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須） 全国語学教育学会（JALT: The Japan Association for Language Teaching）
②各種学会における活動状況 I attended the 2019 JALT Conference in Nagoya City (November 2-4, 2019) and the May, June and July meetings of Yamagata JALT (May 25 and June 22, 2019). At the July meeting I was the presenter (see above).
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	無	種別： 種別：	
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	0件		円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏名	小関 久恵
職位・系・コース	講師・地域経営系・地域福祉コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（一）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1	社会福祉入門～社会福祉士養成標準テキスト	日総研出版	2 巻第 10 章「福祉にかかわる専門職と業務」担当	2020（令和2）年3月発行予定	小関久恵
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	保健医療福祉系大学における教養教育の問題（10）—教養教育の日本的意義をめぐって—	大学教育学会誌第41巻第2号	Pp81-84	2020（令和2）年1月	宮本雅央、町田修三、遠藤良仁、小関久恵、小野滋男、志水幸、寺崎昌男、森元拓、山下匡将、早川明、
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	民俗芸能の伝承方法に関する検討—身体知の記録が持つ可能性—	東北公益文科大学総合研究論集第37号別冊		2020（令和2）年3月発行予定	小関久恵
2					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	風土が育む、からだところ～教養教育の日本的意義を考える～	大学教育学会第41回大会ラウンドテーブル「保健医療福祉系大学における教養教育の問題（10）—教養教育の日本	発表要旨集録 pp296-297	2019（令和元）年6月2日	小関久恵

		的意義をめぐって—」			
--	--	------------	--	--	--

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須) 大学教育学会、日本社会福祉教育学会、日本社会福祉学会
②各種学会における活動状況 日本社会福祉教育学会理事(事務局長。平成26年8月～)
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別：	円
		種別：	円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 酒田市日向地区における地域づくりビジョン作成に向けた検討や、同地区コミュニティセンターに開設したコミュニティカフェ「日向里かふえ」の構想・改装・運営の一連について、専門演習や長期学外学修プログラム、また長期学外学修プログラム履修者を中心に発足した学生活動団体「Praxis」(スーパバイザーを担当)の活動との連動の中で展開している。 なお、同地区は、令和元年度ふるさとづくり大賞(団体、総務大臣表彰)を受賞した。

氏名	渡辺 伸子
職位・系・コース	講師・地域経営系・経営コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	お金に関連する行動の違いは他者に異なる印象をもたらすか？—同性を想定した場合と異性を想定した場合の比較—	東北公益文科大学総合研究論集	36, 17-35.	令和2年 2020年	渡辺伸子
2	学校段階別の勤労観・職業観の特徴 — 「みやぎ仕事作文コンクール」受賞作文を対象とした計量テキスト分析から —	東北公益文科大学総合研究論集	37, 47-61.	令和2年 2020年	渡辺伸子
3	日本における中学生・高校生を対象とした自己受容研究の動向	東北公益文科大学総合研究論集	37, 63-82.	令和元年 2019年	渡辺伸子
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					

1	大学生のアルバイト経験と心理的自立および職業意識の関連	日本パーソナリティ心理学会第28回大会発表論文集, 89.	89	令和元年 2019年	渡辺伸子
---	-----------------------------	-------------------------------	----	---------------	------

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)	日本心理学会・日本青年心理学会・日本パーソナリティ心理学会・日本応用心理学会
②各種学会における活動状況	日本応用心理学会にて、論文査読者を担当(2編)。
③学会賞等の受賞状況	

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有・ <input checked="" type="radio"/>	種別： 種別：	円 円
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円 円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円 円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	0件		円 円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	0件		円 円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏名	樋口 恵佳
職位・系・コース	講師 政策コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1	ニュージーランド とオーストラリア の気候変動政策と 移民問題	OPRI Perspectives	第2号	2019年(令 和元年)12月	樋口恵佳
2	第2部「世界の動 き」	『海洋白書 2020』	(書籍の 一部)	2020年3月 (発行予定)	樋口恵佳
3	(1の媒体の英訳 版) Climate Change Policies and Migration Issues of New Zealand and Australia	OPRI Perspectives	No. 2	2020.3 (発 行予定)	Eka HIGUCHI
⑥国際会議発表論文等					
1	The capacity building at the BBNJ negotiations	The 8th Sino-Japanese Workshop on the Law of the Sea	China Institute for Marine Affairs	2019年 9月11日	Eka HIGUCHI
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	Case study ; mechanism for collection &	日本・欧州対話 2019 横浜(日本・ 欧州関係者会議)	横浜市立 大学	2019年4月 24日	Eka HIGUCHI

	disposal of drifted marine debris				
2	国連の海洋ガバナンスに関する政策目標が国際海洋法の発展に与える影響について—国家管轄権外区域の海洋生物多様性（BBNJ）における協定作成の議論を参考として	グローバル・ガバナンス学会 第12回研究大会		2019年5月12日	樋口恵佳
3	Improving the existing multi-stakeholder networking for new marine litter issues	MARE People and the Sea Conference 2019	Centre of Marine Research	2019年6月26日	Eka HIGUCHI & Naohiro GO

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)
国際法学会、世界法学会、日本海洋政策学会、グローバル・ガバナンス学会、青森法学会
②各種学会における活動状況
国際法学会 若手研究者育成委員 グローバル・ガバナンス学会（研究報告1回）
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	種別：なし	円
		種別：	円
受託研究関係	件数	契約先名	契約金額
	2件	笹川平和財団海洋政策研究所	529,240円
		同上	529,240円
受託事業関係	件数	契約先名	契約金額
	件		円
民間	件数	契約先名	契約金額

機関等 共同 研究	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 海洋ごみに関する調査研究、研究成果普及活動

氏名	松尾 慎太郎
職位・系・コース	講師・地域経営系・経営コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1	第6章 アメリカの監査報告書（『監査報告の変革』所収）	中央経済社	97-109 頁	2019年（令和元年）	林隆敏・日本公認会計士協会近畿会監査会計委員会編著
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1	監査判断と法的思考：議論図式による監査判断プロセスの構造解明	會計	196(1), 85-97 頁	2019年（令和元年）	松尾慎太郎
2	第10章 Continuous Auditing についての論点整理	日本監査研究学会課題別研究部会	最終報告書、 142-151 頁	2019年（令和元年）	松尾慎太郎
3	第7章 監査調書	日本会計研究学会スタディ・グループ	中間報告書、84-91 頁	2019年（令和元年）	松尾慎太郎
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)
日本会計研究学会、日本監査研究学会、国際会計研究学会、アメリカ会計学会。
②各種学会における活動状況
日本会計研究学会スタディ・グループ メンバー 日本監査研究学会課題別研究部会 メンバー
③学会賞等の受賞状況
特になし。

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	種別：不採択B	円
	種別：	円	
受託 研究 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円
受託 事業 関係	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	0件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) 特になし。
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 特になし。

氏名	佐藤 昭洋
職位・系・コース	助教・地域福祉コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	社会福祉人物史 研究方法論の動 向と展望—社会 福祉従事者論の 視点を中心に—	東北公益文科大学 総合研究論集	第 37 号, pp. 139-155	2019 年 (令和元年)	佐藤昭洋
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須) 社会事業史学会、日本社会福祉学会
②各種学会における活動状況 ・社会事業史学会第 47 回大会（5 月 11、12 日）へ、学会聴講のため参加した。 ・日本社会福祉学会第 67 回大会（9 月 21、22 日）へ参加したが、台風により 2 日目は中止となった。
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ (無)	種別 :	
		種別 :	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏名	バンティング ティモシー
職位・系・コース	助教・交流文科系・国際教養コース

1. 研究発表

整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
2					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	English and Global Development Seminar IV	Grad School			
2	Tohoku ELT Expo 2019, Perfecting Presentations 発表	JALT		December 8, 2019	Tim Bunting

学会活動に関する業績

①所属学会等（必須） JALT, Institute of New Zealand Studies, 国際交流会
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別：	
		種別：	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 出羽三山門前町プロジェクト、出羽三山を始め、庄内地方や山形県への インバウンドの取り組み

氏 名	唐 栄
職位・系・コース	助教・交流文化系・メディア情報コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共 同発表の場 合は論文等 に記載した 順に本人も 含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	VR 技術を用いたサクランボ狩りの体験による観光客誘致可能性の検討	情報処理学会 研究会	Vol. 2019-IS-150 No. 16	2019/11/24	三浦 彰人 広瀬 雄二

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別： 種別：	円 円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円 円

受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)